

令和5年度第1回東久留米市地域医療協議会会議録

日 時 令和5年7月3日（月）午後1時30分から午後2時30分

会 場 東久留米市役所4階庁議室

出席者等 （敬称略・順不同）

委 員 熊野 雄一 小玉 剛 子田 純夫 福山 中
神谷 貴充 大槻 健人 荒島 久人 浦山 和人

欠席者 石橋 幸滋

事務局 健康課長 課長補佐(兼)主査(新型コロナウイルスワクチン接種担当) 予防係長 保健サービス係長 健康課主査
特定健診係長 特定健診係主事

第1 開会

第2 委嘱書の交付

第3 市長挨拶

第4 委員の自己紹介

第5 会長・副会長選出

(事務局)

次第の第5、会長、副会長の選出でございます。まず、会長の選出ですが、地域医療協議会実施要綱第5の規定により、委員の中から互選することになっております。どなたかご推薦していただけますか。

(委員)

熊野委員を推薦します。

(事務局)

ただ今、熊野委員のご推薦がございました。皆さまいかがでしょうか。

(委員)

異議なし。

(事務局)

それでは、会長を、熊野委員にお願いします。

続きまして、副会長の選出でございますが、同じく要綱第5の規定により、委員の中から互選することになっております。どなたか、ご推薦ございますでしょうか。

(委員)

小玉委員を推薦します。

(事務局)

ただ今、小玉委員のご推薦がございました。皆さまいかがでしょうか。

(委員)

異議なし。

(事務局)

それでは、副会長を、小玉委員にお願いします。

熊野委員、小玉委員、会長席、副会長席へのお席の移動をお願いいたします。

第6 議題

(会長)

それでは、ここから進行をさせていただきます。議題(1)「令和4年度保健衛生事業報告について」事務局よりお願いします。

(事務局)

令和4年度保健衛生事業報告について、保健衛生事業報告の概要に基づいて各担当から報告します。

- ・ 予防係… 1 予防接種事業(1)、2 任意予防接種事業、3 休日診療事業
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種担当… 1 予防接種事業(2)
- ・ 特定健診係… 4 特定健康診査・特定保健指導事業、後期高齢者健康診査事業、5 健康増進事業(1)(2)(3)
- ・ 保健サービス係… 5 健康増進事業(4)、6 健康づくり計画、7 自殺対策事業、8 母子保健事業、9 歯科保健事業

※報告内容は令和4年度保健衛生事業報告の概要のとおり。

(会長)

それでは、令和4年度保健衛生事業報告について、委員の皆様からのご質問等をお受けします。

(副会長)

「6. 健康づくり計画」について

子田委員、北村前歯科医師会長の講演やパネル展示が、令和5年度の取り組みに繋がったということで大変嬉しく思います。

ロコモやフレイルなどに近いところがあるとは思いますが、今は、口腔と栄養と回復リハビリテーションなどを一緒に行うと効果的であるという議論がされています。

東くるめわくわく元気 plus+や食事運動、口腔ケアなどは非常に高いニーズがあると思いますので、それらを合体して何かまたもう一歩進んだ事業ができるとすごいいいのかなと思います。

(委員)

「5. 健康増進事業」(1) 健康診査受診状況について

肺がん検診の受診率が0.9%と低いですが、何か理由がありますか。何か受診しにくい理由等があるのですか。

(事務局)

考えられる理由としては、2つございます。

まず、一つ目として、東久留米市では、特定健康診査の追加項目として、胸部レントゲン検査を実施しています。そのため、肺がん検診よりも、胸部レントゲン検査を優先して受けられる方が多くいらっしゃいます。

2つ目の理由として、自己負担額が他市に比べ割高なことが考えられます。

(会長)

他市の自己負担額は、どのくらいですか。

(事務局)

無料の自治体もありますが、ほとんどの自治体が1,000円未満です。当市の肺がん検診は、1,500円で、喀痰検査を行う場合は、追加で500円を負担いただいております。

(会長)

肺がん検診の方が、ダブルチェックをするので、見逃しが少ないと思いますが、特定健診の追加検査は、500円で受けられると思うので、そちらを受けてしまうのかもしれないですね。

(委員)

「1. 予防接種事業」(1) 実施状況について

麻しん風しん混合ワクチン接種の2期についてですが、接種率が93%ということで、目標の95%に少し足りないかなと思います。それについては、例えば就学時前の健診など、いろいろな勧奨の機会があると思いますが、そういった勧奨を行っても、この数値になるということでしょうか。

(事務局)

就学時前等に未接種者に通知をし勧奨を行っていますが、この数字となります。麻しん風しんについては、関心が高いところかと思しますので、今後も積極的・効果的な勧奨方法を考えていきたいと思っております。

(委員)

以前と比べると、麻しん株は定着株が国内にほぼなくなってきたので、逆に持ち込まれると、接種率の低い集団では、一気に感染が広がる恐れがあるので警戒しないといけないかなと思います。

麻しん風しんワクチンの予防効率は非常に高いので、接種率ができれば100%ですが、できる限りを上げていく事が優先度が高いと思っておりますので、よろしく

お願いいたします。

(会長)

例年麻しん風しん2期の接種率は、このぐらいの数字になるのでしょうか。

(事務局)

大体95%前後で推移する形となっています。

(会長)

接種率でいうと二種混合とか日本脳炎の2期は、毎回低めとなっていますが、未接種の人には勧奨を行っているのですか。

(事務局)

麻しん風しんだけは、国の対策としての指針があり、就学時前等に周知はしているのですが他の予防接種については未接種者の方に対しての勧奨は行っておりません。

(会長)

毎回報告を見て、ここの接種率は上がってきていないので、中学校に入ったタイミングで打っていないワクチンの確認とか、学務課等と協力してできたらなと思います。

(委員)

「1. 予防接種事業」について

带状疱疹ワクチンの助成は、東久留米市では9月から始まるのですか。

(事務局)

带状疱疹ワクチンの助成については、現在、検討している段階となります。東京都から2分の1の補助がありますが、その他、市の予算でも持ち出しがありますので、それについて、財政部門と調整をしております。また、4月1日まで遡って償還払いの実施を考えておりますので、助成の開始については、9月よりもう少し後になると考えています。

(委員)

償還払いというのは、4月1日以降に接種した方が、申請をすれば一部補助を受けられるということですか。

(事務局)

ご認識のとおりです。

(委員)

この助成は、年度内には開始できるということで良いですか。

(事務局)

年度内には、開始できると思います。早めに接種したいとご連絡があった方に対しては、証明書等の保管をお願いしております。

ただし、予算に関しては、議会の承認を経てからということになりますので、そ

ちらについては、ご理解をいただければと思います。

(会長)

ワクチンについては、2種類あると思いますが、どちらとも対象になりますか。

(事務局)

価格にかなり差がありますが、今のところ、どちらも対象として考えております。

(副会長)

「1. 予防接種事業」(2) 新型コロナウイルスワクチン接種事業について

新型コロナウイルスが、5類に移行となり、少し落ち着いたと思いますが、やはり感染症の拡大が無くなったわけではないと思います。例えば、感染の拡大が更に広がったときに、新型コロナウイルスワクチン接種事業において、市が取り組む対応策や実施計画があれば教えていただきたいです。

(事務局)

現段階でまだ計画というものの自体はございませんが、秋冬の接種開始に向け、集団接種の実施も市の方では考えております。また、新たなワクチンの情報も国からきているので、そういった情報を踏まえながら今後、進めていきたいと思っています。

(副会長)

その準備状況を、広報に載せるなど、市民の皆さんに広くお知らせするといったことは考えておりますか。

(事務局)

今後の話でございしますが、現段階では、まだ未定でございします。現在、第9波という報道がされておりますが、春開始接種につきましては、対象が65歳以上の方、医療従事者、高齢者施設の従事者、介護施設の従事者や基礎疾患のある方といったところとございしますので、この判断が、国からどのタイミングで出るかといったところによって各自治体、動きが変わってくると思います。ただ、現状の中で申し上げますと、次に秋開始接種が始まりますので、それに向け、市HPの更新や接種券の発送、同封物の検討を進めていくところとございします。

(副会長)

安心しました。ありがとうございます。

(事務局)

本日欠席しております委員よりご意見をいただいておりますので、ここでご報告させていただきます。

1点目が、带状疱疹ワクチンについてですが、市が助成する際に、自己負担なしで接種ができれば良い。というご意見をいただいております。これにつきましては、市の方でも、助成をする際は、他市の状況等を確認しながら考えてまいりたいというお答えをしております。

2点目が、「8母子保健事業」の妊娠届、妊婦アンケートに関してですが、こちらのその他の項目 437 件について、もう少し分析を行っていただきたい。というご意見をいただいております。

(副会長)

先ほど、お話しに出ました带状疱疹ワクチンや肺がんの検診について、他市より、自己負担額が高いとか、お金がかかるといったところがあると思いますが、それを他市と同額にすることや無料にする場合は、大体予算措置はどれぐらい必要になってくるのでしょうか。

(事務局)

带状疱疹ワクチンの助成の方ですが、東京都の補助は 50 歳以上を対象としており、また、接種率については他の自治体でも大体 2 %程度で見込み、試算をしております。当市の場合、50 歳以上の方が 5 万 8000 人以上おり、接種率 2 %、助成金額を他市並みの金額で試算すると、市の持ち出しが 1 年間で大体 900 万円ぐらいとなる見込みです。ただし接種率によってかなり上下します。带状疱疹については以上です。

肺がん検診に関してですが、現在 1,500 円をご負担いただいているところを例えば 500 円に変更した場合、市の持ち出しが、1,000 円増えることとなります。現在、肺がん検診は、おおよそ 400 名程度受けられておりますので、単純に 400 人掛ける 1,000 円が市の持ち出しとなってきます。また、国の補助としては、市町村総合交付金という形で大きな枠組みで補助をいただいておりますので、肺がん検診の人数が増えたからといって、その補助が多くなるというわけではないという認識でおります。

(会長)

肺がん検診に関しては、受診率が 0.9%と低いですが、目標値などはあるのですか。

(事務局)

明確な目標値は定めておりませんが、他市や近隣市程度には、受診率を上げていきたいと考えております。先ほど、受診率が低い要因を 2 点ご説明いたしましたが、当市の肺がん検診の受診期間が 5 月の 1 カ月のみであることも要因だと感じております。他市に関しましては、特定健診との同時実施や、他のがん検診とのセット受診などを行っており、そういった取り組みが受診率の向上につながっているものと考えております。

(会長)

令和 4 年度保健衛生事業報告については、以上となります。

(会長)

それでは、次第の6の(2)「その他」に移ります。皆様、なにかご質問はございますでしょうか。

(副会長)

大規模災害への対応で、昨年7月に厚労省の局長連名通知で「大規模災害発生時の保健医療福祉活動に係る総合的な体制の整備について」というものが出まして、これについては、保健所が中心となって災害対策本部など様々なことを進めていくものだと思います。先ほど災害医療コーディネーターのお話がありましたが、今後は薬剤師についても進めていただけるということで非常に良いかなと思います。やはり、いろんなチームが災害対策本部に関係していくというのが、防災基本計画や医療計画でありますので、介護や歯科医療職など、多職種での対応を進めるような体制作りというものを市でも考えていただければありがたいなと思います。

(事務局)

その他につきましても、本日欠席しております委員よりご意見をいただいておりますので、ここでご報告させていただきます。

令和5年度の活動として、こども家庭庁の取り組みとこども家庭センターの設置というところが、新たに加わってくると思いますが、その状況が分かり次第教えていただきたい。というご意見がございました。

(会長)

それでは、これをもって、令和5年度第1回東久留米市地域医療協議会を閉会とさせていただきます。本日は、お忙しいところご出席いただき、ありがとうございました。

以 上